

Abu Garcia

MAX^x

SPINNING REEL

日本語版取扱説明書

このたびはアブ・ガルシアMAX X SPシリーズをお買い上げいただきありがとうございます。アブ・ガルシリアルールは50年以上もの間、高品質、高機能、高耐久性のリールの代名詞として知られ、今日でも、トーナメントサーキットを転戦するバスプロ、記録を目指すエキスパート、フィッシングガイドなど、世界中のトップアングラーに選ばれています。本製品の性能を十分に引き出し、あなたの釣りを楽しいものにするために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

<<主な仕様>>

- コンパクト左右非対称ボディ
- ねじ込み式ハンドル
- 4ボールベアリング+1ローラーベアリング
- ロケットラインマネジメントシステム
- マシンカットアルミスプール
- ナイロンライン付き
- ハンドル左右交換可能
- SW/FW対応

仕様一覧表

| 製品名 | 自重(g) | ギア比 | 最大ライン巻き取り長 (cm/ハンドル1回転) | 最大ドラグ力 (kg) | ベアリング入り数 (ボール/ローラーベアリング) |
|-----------------|-------|-------|----------------------------|----------------|-----------------------------|
| Max X 750 糸付き | 180 | 5.2:1 | 54 | 3 | 4+1 |
| Max X 1000 糸付き | 213 | 5.2:1 | 57 | 3 | 4+1 |
| Max X 2000 糸付き | 219 | 5.2:1 | 63 | 3 | 4+1 |
| Max X 2500 糸付き | 230 | 5.2:1 | 69 | 3 | 4+1 |
| Max X 2500D 糸付き | 232 | 5.2:1 | 69 | 3 | 4+1 |
| Max X 3000 糸付き | 235 | 5.2:1 | 74 | 6.4 | 4+1 |
| Max X 4000 糸付き | 264 | 5.2:1 | 80 | 6.4 | 4+1 |

ラインキャパシティ①ナイロン・フロロカーボン(m)

| 製品名 | PEライン | | | | | | | |
|-----------------|----------------------|--------------------|----------------------|--------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|--|
| | 0.148mm 約3lb/0.8号 | 0.165mm 約4lb/1号 | 0.205mm 約6lb/1.5号 | 0.235mm 約8lb/2号 | 0.260mm 約10lb/2.5号 | 0.285mm 約12lb/3号 | 0.330mm 約16lb/4号 | |
| Max X 750 糸付き | 165 | 135 | 90 | 65 | | | | |
| Max X 1000 糸付き | 195 | 155 | 105 | 75 | | | | |
| Max X 2000 糸付き | | 200 | 135 | 100 | 80 | | | |
| Max X 2500 糸付き | | | 250 | 185 | 150 | 125 | | |
| Max X 2500D 糸付き | | | 250 | 185 | 150 | 125 | | |
| Max X 3000 糸付き | | | | 225 | 180 | 150 | 115 | |
| Max X 4000 糸付き | | | | 300 | 240 | 200 | 150 | |

ラインキャパシティ② PEライン(m)

| 製品名 | PEライン | | | | | | | |
|-----------------|-------|------|------|------|-----|------|------|-----|
| | 0.4号 | 0.5号 | 0.6号 | 0.8号 | 1号 | 1.2号 | 1.5号 | 2号 |
| Max X 750 糸付き | 270 | 215 | 180 | | | | | |
| Max X 1000 糸付き | 300 | 240 | 200 | | | | | |
| Max X 2000 糸付き | | 320 | 265 | 200 | 160 | | | |
| Max X 2500 糸付き | | | | 375 | 300 | 250 | | |
| Max X 2500D 糸付き | | | | 375 | 300 | 250 | | |
| Max X 3000 糸付き | | | | | 360 | 300 | 240 | 180 |
| Max X 4000 糸付き | | | | | | 400 | 320 | 240 |

- ※スプール記載の糸巻量はUS基準になります。日本では上記表をご参照ください。
- ※最大ライン巻取について：最大ライン巻取はスプール径からの計算値によってハンドル1回転あたりのライン最大巻取長を表示しております。
- ※ラインキャパシティについて：糸巻量は使用する各社ラインによって誤差が生じます。また、ラインを巻取るテンションによっても変化します。実釣においてはスプール径目一杯に巻くことはないため、上記の糸巻量は目安としてください。
- ※PEラインを巻く場合は、巻き初めに滑り止めのテープ止め又はナイロンライン下巻きが必要です。
- ※製品の各仕様・デザイン・価格については、改良等のため予告なく変更する場合があります。

その他特長と使用方法

左右両用ハンドル

出荷時の状態は左ハンドル使用になっています。ハンドル位置を左右交換する場合は、以下の手順で実施してください。

- ①ハンドルの反対側についているハンドルキャップを外してください。(キャップが右についている場合は反時計回り、左についている場合は時計回りにまわしてください)
 - ②ハンドルとハンドルキャップを入れ替えてください。
 - ③ハンドルとキャップを①とは逆の方向に回してとりつけてください。
- ※使用中に緩み、落下しない程度にきつく締めてください。

インスタントアンチリバース機構

インスタントアンチリバース機構によりハンドルの逆回転方向のアソビ(ガタ)をなくし、アタリをとりやすく、確実なアフゼを可能としました。本製品にはストッパーレバーが無く、ストッパーは常にONの状態となっております。ルアーを竿先まで、巻き込んだ場合は、ベールを開く前にスプールを糸繰りだし方向に回転させ、必ず糸のたるみを作ってください。

コイルベイルスプリング

耐久性に優れたコイルベイルスプリングを採用。

ラインクリップ

スプールのスカート部分にあるラインクリップは、リールを使わないとき、ラインの端を保持しておくために使用します。

注意

- キャスト(投げる)の時は、ベールを起すことを忘れないでください。仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで、周囲の人にけがをさせるおそれがあります。
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- 糸が勢いよく出ているとき糸をつかまないと、糸で指を切ることがあります。
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、衣類を汚さないように注意してください。
- リールを構成します各部のパーツは食用ではありません。リールは幼児の手の届かないところへ保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談ください。
- 回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。
- スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る恐れがあります。
- サミング操作をする場合、ヤケドや指をはさんでケガをする恐れがありますので、注意してください。
- ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
- リールを構成します各パーツは精密なセッティングにより出荷されておりますので、分解などのメンテナンスは、当社へおまかせください。

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社

〒135-0042 東京都江東区木場2-15-12 MAビル

TEL 03-6860-5180

■仕様/デザインは改良などのため予告なしに変更することがあります。



ドラグ調整方法

ドラグとは、ドラグの締め付けを調整することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。



- ※ドラグノブは右に回すと強く締め、左に回すと弱くなります。
- ※リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調整してください。アンチリバースONの状態で、手で糸を引き出しながら、ドラグの締め付けを調整します。通常は糸が切れる前にスプールが空転するよう調整します。ドラグ締め付けによる糸の引き出しテンションを、ライン強度の1/3程度に調整するのが一般的です。

スプール取り外し方法

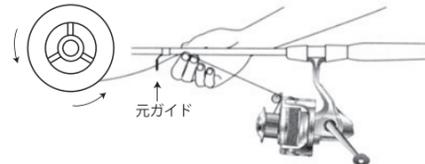
※ドラグノブを反時計回りに回して外し、スプールを外すことができます。



新品のラインをリールに巻く方法

必ず図のような方法でリールをロッドにセットし、まずベールを開き、新しいラインをスプールに結びます。再度ベールを閉じて、スプールにラインを巻いてください。しっかりと巻くためにドラグはしっかりと締め適度なテンションをかけながら巻いてください。

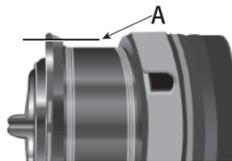
新品のラインの場合、ホビンを図のようにタデにして、適度なテンションを与えながら巻いてください。



※図のようにロッドの元ガイドを活用するととても便利です。

ラインを巻く適正量

スプールエッジA位置がラインの適正巻き終わり位置です。ラインを多く巻き過ぎるとライントラブルの原因となります。



糸巻状態の調整方法

使用糸の特性により、糸巻量や糸巻形状が変化しますので、標準の糸巻状態にてご使用いただくために、付属のワッシャーで調整してください。



メンテナンス

リールの性能をいつまでも維持する為には釣行毎のメンテナンスが大切です。水洗いする前に必ずドラグノブを締めてください。そして、水道などの流水でリールの内部に水が入らないように注意しながらリールの表面の汚れ、塩をサッと洗い流します。その際、リールを水に漬けるような洗い方や長時間の水洗いは絶対にさけてください。洗った後は乾いた布で拭き、十分に乾かしてから、必ず注油してください。オイル、グリスの塗布する箇所は下記のイラストを参考にしてください。注油回数が少ないのはもちろん良くありませんが、不必要な箇所への注油や必要以上に多くのグリスをつけると、回転不良などにつながりますのでご注意ください。リールの保管時はドラグを必ず緩めておいてください。



メインシャフト部にはスプールを取り外し注油をしてください。